

Toko Shinoda

- 1913年 3月28日、旧満州国代連に生まれる(本名・満州子)
翌年東京へ、5歳のころ書をはじめ
- 1936年 はじめての書の個展(東京・鳩居堂)
- 1947年 水墨による「抽象絵画」を描き始める
- 1951年 書道芸術院に所属(1956年まで)
- 1953年 「日本の建築と書」展(選抜。ニューヨーク近代美術館。以降全米巡回)
- 1954年 日本現代書道展(ニューヨーク近代美術館)
「サンパウロ市400年祭り」日本政府館のために壁書を制作
- 1955年 日米抽象美術展(東京国立近代美術館)
現代日本の書・墨の芸術展(アムステルダム市立美術館)
- 1956年 渡米
- 1958年 帰国
- 1959年 「日本美術の伝統と革新 - 白隠、志功、桃紅、南谷4人展」
(クレーラー・ミュラー美術館、オテルロー、オランダ)
- 1960年 来日した刷師アーサー・フローリーの勧めでリトグラフ制作を始める
- 1961年 「ピッツバーグ国際現代絵画彫刻展」(特選)
「第6回サンパウロ・ビエンナーレ」招待出品
- 1962年 「現代日本の書:意味と記号」展(ドイツ巡回)、「国際美術展」(バンクーバー)
「近代日本の造形-絵画と彫刻」(東京国立近代美術館)
「近代日本墨絵展」(アメリカ巡回)
- 1964年 国立代々木競技場のために壁画を制作(東京)
- 1967年 「ROSC '67(第1回展)世界50人展」(ロイヤル・ダブリン・ソサエティー)
- 1968年 この頃より時折、富士山麓のアトリエで制作するようになる。
- 1970年 京王プラザホテル貴賓室、次特別室、ロビー、客室に屏風とリトグラフを制作(東京)
- 1971年 「ROSC '71、10人の作家展」(ロイヤル・ダブリン・ソサエティー)
デュビュッフェ、アルトゥング、デ・クーニング、ミラレス、ミロ、ピカソ、
篠田、スーラージュ、タピエス、ザオ・ウォーキー
- 1979年 「岡田・篠田・津高(20世紀日本抽象絵画3人のパイオニア)」展(ワシントン)
随筆集『墨いろ』で第27回日本エッセイスト・クラブ賞受賞
- 1985年 「絵画と文・描かれた文字／書かれた絵」(函館美術館)
- 1990年 「トールマン・コレクション展」(ホノルル／東京／シンガポール／香港)
- 1994年 「戦後日本の前衛美術」(横浜美術館、以後グッゲンハイム美術館他へ巡回)
- 1996年 シンガポール・国立アート・ミュージアム初の日本人作家による個展
「TOKO SHINODA -VISUAL POETRY」(トールマン・コレクション主催)
- 1999年 東京文化会館の名称ロゴを制作
- 2003年 90歳記念個展「篠田桃紅 朱よ」宮内庁収蔵作品も貸出展示
- 2005年 個展「墨いろに心を託した作家のあゆみ」
- 2012年 個展「Guided by the Brush」(ニューヨーク)
- 2013年 トールマン・コレクション主催・監修の展覧会を開催(菊池寛実記念智美術館)
- 2015年 トールマンコレクション主催・企画の篠田桃紅百三景展(コンラッド東京)
- 2021年 3月1日、逝去